

美術領域専攻（書道分野）

（4枚の1）

一 次の文章を半紙に収まりよく書きなさい。漢字とかなの変換は不可とし、句読点は省略すること。（半紙タテ）

文字は本来、形と線によつて構成されているものだが、表現をその何れかに傾斜させて運用するのは、書者の個性が決定する。

（青山杉雨『文字性霊』二玄社）

二 図版Aのうち「多寶佛塔感應」の六文字を半紙に臨書しなさい。（半紙タテ）

三 図版Bを半紙に収まりよく臨書しなさい。（半紙タテ）

四 図版Cを半切に二行で臨書しなさい。（半切タテ）

五 図版Dを半切に二行で臨書しなさい。（半切タテ）

図版 A

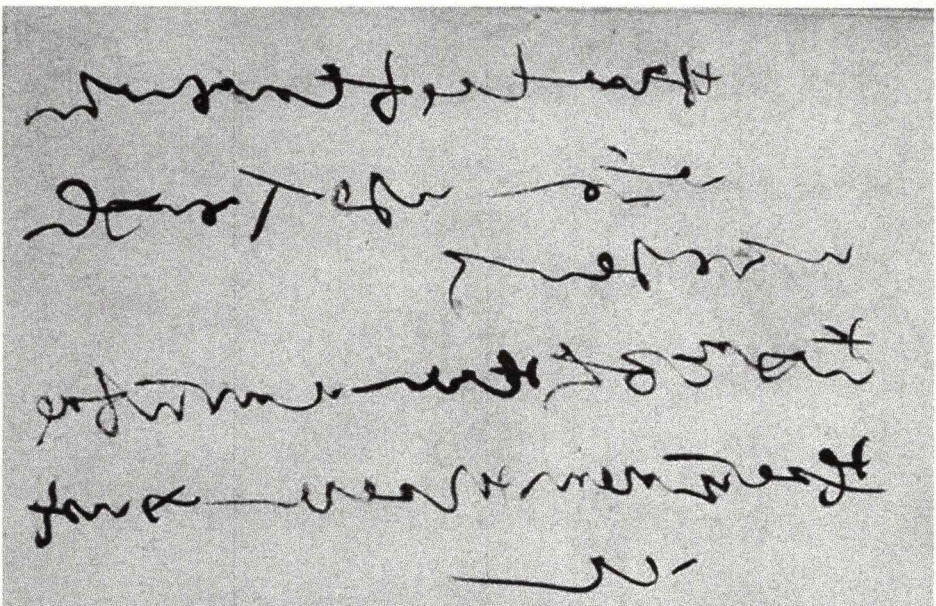


大唐西京千福寺多寶佛／塔感應碑文。／南陽岑勛撰。朝議郎／判尚書武部員外郎琅／

『多宝塔碑』唐 顏真卿（書の字由 13 一玄社）

美術 領域 専攻 (書道分野)

(4 枚の 3)



図版 B

かへし
支 健 三 志 支
おき つ な み し き る し も こ そ
お 終
も 本
ほ ゆ れ あ る う み に や な
ら む と す ら む 元

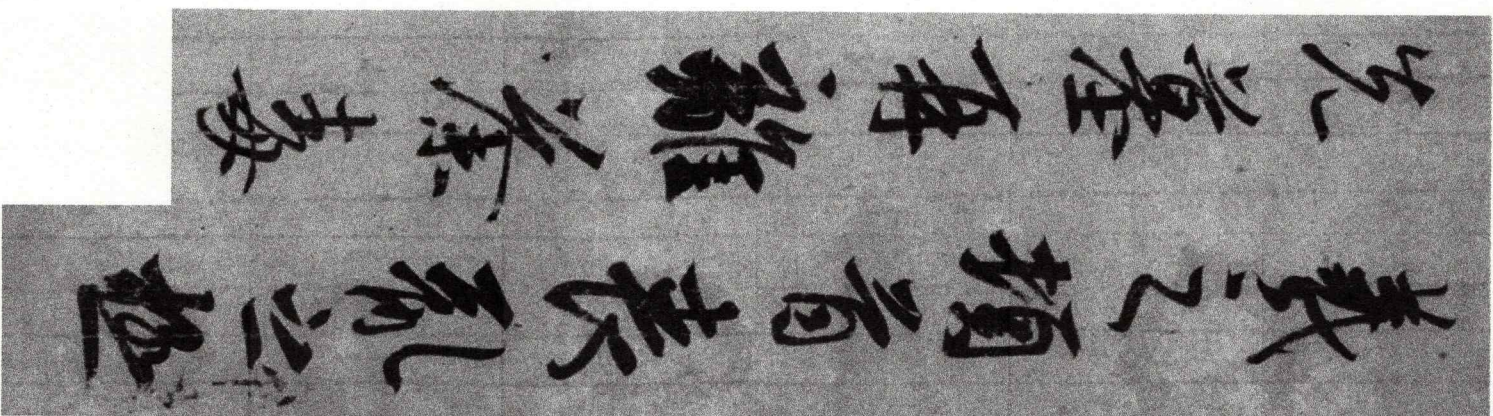
多
た れ と し ら ず 、 人 と も の
た ま ふ に や り じ を た て

『一条撰政集 伝西行筆』(日本名筆選 41 二玄社)

美術領域専攻 (書道分野)

(4枚の4)

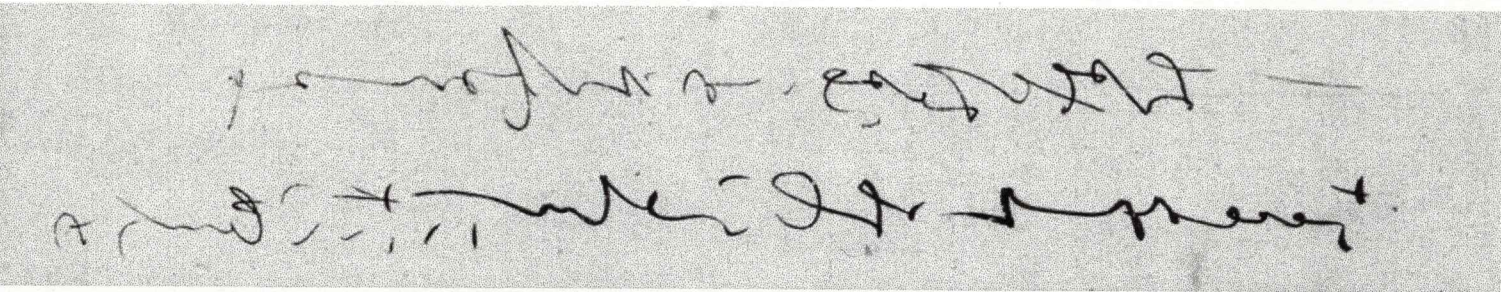
図版 C



義之頓首。喪亂之極。／先墓再離茶毒。

『義乱帖 王羲之』(書の宇宙 6 二玄社)

図版 D



なにしてみ
のいたづらにおいぬらんとし
の
おもは
ことぞや
さし
支

『高野切第三種 伝紀貫之筆』(日本名筆選 5 二玄社)